

# 日程変更

令和 2 年 7 月 1 日

## 令和二年度 奈良金春会演能会

令和二年四月二十木田(申)牛後十一時半はじゆ

奈良春日野国際フォーラム薦  
(旧称)奈良県新公会堂

能 樂 一  
奈良市春日野町一〇一番地  
電話(〇七四二)二七一二六三〇(代)

### 能のお話

鞍馬天狗 網ノ段島

### 能弱法師

仕舞

八島

大小笛アワシ  
鼓 鼓 鼓

辻荒左網原高  
木鴻谷橋  
芳建雅正  
昭作義美大忍

金酒吉川  
春井賢惠  
嘉織一宥

休憩 二十分

憩

二十分

### 狂言 因幡堂

仕舞

野女老郎  
守花松

アシテ(女)

二  
一

茂山

千三郎

あきら

### 能胡蝶

仕舞

太大小笛アワシ  
鼓 鼓 鼓

イキ(都吉)  
の野(胡里)  
の蝶(精女)  
者(僧)

中辻荒赤鈴原金  
田木井木春  
一雅建要穂  
葉之作佑実陸高

一本  
木

芳飛康

樹翔之

## 弱法師（よろぼうし）

解説 中司由起子

河内の国に住む高安通俊（ワキ）が讒言を信じ、我が子の俊徳丸を家から追い出した。俊徳丸は行方知れずとなり、悔いの通俊はある年の如月彼岸の中日に、四天王寺で施しをおこなう。通俊の従者（アイ）が施しを告げると、盲目ゆえに弱法師と呼ばれる男（シテ）が現れ、四天王寺の縁起を語る。その姿を見た通俊は、弱法師こそ我が子であると気づく。やがて日想観（じつそうがん）の時になると、弱法師は心眼で難波の景色を見渡すが、人々に突き当たり倒れ伏す。夜になり、親子は再会を果たす。

舞台は、梅の花匂う四天王寺の境内。日想観とは彼岸の中日に夕日を眺め極楽往生を願うことです。

## 胡蝶（こちよう）

旅の僧（ワキ）が供の僧（ワキツレ）を連れて都の一条大宮を訪れる。梅の花を眺める僧に女（前シテ）が声をかける。女は胡蝶の精であると明かし、四季に咲く花とは戯れることができるのに、早春の梅花には縁が薄いと嘆き、夕暮れの空に消え失せる。近くに住む男（アイ）から胡蝶の話を聞いた僧が供養をする。夢の中に胡蝶の精（後シテ）が現れ、梅花とも縁を得ることができたと喜び、舞を舞う。紅梅に戯れるような胡蝶の精の可憐な舞が中心の作品です。胡蝶に関する和漢の故事が多く引用されています。

## 次回予告 六月二十一日（日）午後十二時半

能源太夫

金春穂高

能杜若

金春憲和

連合謡曲仕舞会

金田能光

楊貴妃

中田康之

午後十二時半

高橋安忍

能生田

金春安明

午後十二時半

金春忍

阿漕

高橋忍

葵上

金春忍

十一月二十九日（日）午後十二時半

高橋忍

主催奈良金春

金春忍

五枚綴回数券  
二〇、〇〇〇円  
一般一回券  
五、〇〇〇円  
学生一回券  
二、五〇〇円

奈良春日野国際フォーラム 能楽ホール

電話（〇七四二）二七一二六三〇代

・近鉄「奈良駅」から奈良交通バス市内循環

・「大仏前」下車 東へすぐ

・近鉄「奈良駅」から徒歩二〇分

主催 奈良金春

後援

奈良市教育委員会

（公社）金春円満井会

◎鑑賞券（学生券を除く）は、奈良春日野国際フォーラムで取り扱っています。

お問合せ電話（〇七四二）三三一九七二〇 金春

◎奈良県新公会堂は、平成二十七年から、奈良春日野国際フォーラムに改称されました。

◎特別に許可された人以外の写真撮影・録画・録音はお断りします。

◎携帯電話は電源をお切り下さいまた会話・飲食など他のお客様の迷惑になるような行為は御遠慮下さい。

◎奈良春日野国際フォーラムの駐車場は現在一般の方の車の受け入れをしておりません。

車でお越しの方は他所に駐車場をお求めいただくなっています。

◎満席の場合など、当日会場では入場券を発売しない事があります。又、入場制限する事もあります。